

# 神奈川県青少年科学体験活動 推進協議会ニュース

第43号

平成24年3月23日発行  
事務局  
県立青少年センター  
科学部科学支援課  
☎045-263-4470

## 第45回 神奈川県青少年科学作文コンクール

第45回神奈川県青少年科学作文コンクールの表彰式ならびに記念科学講演会が、2月26日（日）14時から青少年センターで行われました。

応募総数254点の中から、入選した23作品について各賞の表彰が行われました。

また、表彰後に「県知事賞」「みどりの保全・環境特別賞」を受賞した次の2作品の研究成果の発表が行われました。

### 「県知事賞」

作品名：テントウムシの越冬と環境適応能力  
学校名：湘南白百合学園中学校  
氏名：小林沙衣



### 「みどりの保全・環境特別賞」

作品名：ヒマワリを使った放射能汚染土壌浄化の研究  
学校名：神奈川県立平塚農業高等学校  
氏名：阿部夏輝、杉本那樹



(阿部夏輝さん)

表彰式後に記念科学講演会が行われました。

講師：東京工芸大学 芸術学部ゲーム学科  
中島信貴教授

演題：テレビゲームの作り方

『ゲームの企画や製作に携わっていくこと考えている人は、ゲームばかりやるのではなく、広くさまざまな体験や知識を身につけてもらいたい』というお話が印象的でした。



# 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会

## 総会

3月2日(金)14時より、県立青少年センターにて総会を開催しました。当日は、33団体の会員の皆様の出席をいただきました。今年度の事業報告、外部助成金決算報告に続いて、平成24年度事業計画案が事務局より提示され、承認されました。

なお、平成24、25年度の協議会役員については、2月26日に行われた理事会で承認され、総会で報告しました。



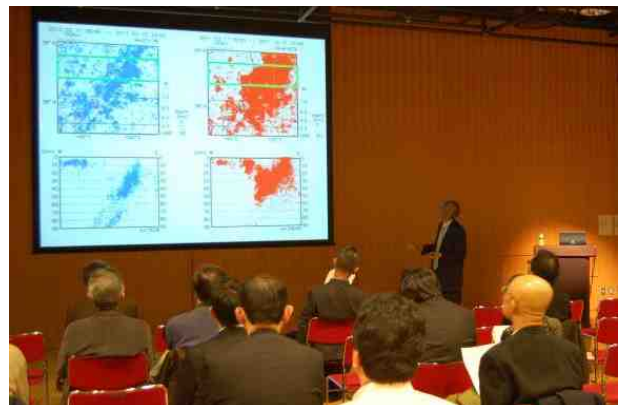
### <平成24・25年度 神奈川県青少年科学体験活動推進協議会役員>

役職	会員名	役員名(職・氏名)
会長	神奈川県立青少年センター	館長 三瓶 正義
副会長	東芝科学館	館長 中山 純史
副会長	神奈川工科大学	企画入学担当部長 石田 裕昭
理事	おもしろ科学たんけん工房	代表理事 安田 光一
理事	神奈川県環境科学センター	所長 渡辺 一法
理事	神奈川県公立中学校教育研究会理科部会	会長 平井 隆
理事	神奈川県政策局政策調整部科学技術政策課	課長 平田 実
理事	株式会社学研ホールディングス学研教育総合研究所	所長 安威 誠
理事	株式会社テレビ神奈川	取締役報道局長兼コンテンツ局長 福島 俊彦
理事	横浜市立野毛山動物園	園長 市川 典良

## 研修会

総会后、15時30分から研修会として科学講演会を開催いたしました。今回は、神奈川県温泉地学研究所吉田明夫所長に「2011年3月11日以後」～地震活動はどう変わった～という演題でご講演をいただきました。

3月11日以後、関東地方のプレート境界、地殻内とも地震活動が活発化していることを、多くのデータをもとにわかりやすく説明いただき、地震予知の難しさについて考えさせられました。



## 懇親会

研修会后、青少年センター内レストラン「メルヘン」にて懇親会が行われました。三瓶会長の乾杯の挨拶で始まり、和気藹々とした雰囲気の中、会員同士の交流はおおいに盛り上がりしました。

# 子どもサイエンスフェスティバル県北地区大会

日時:2/11(土)10:00～15:00 場所:相模原市立青少年学習センター

今年度は、県内の3地区(県央・県北・湘南)で『子どもサイエンスフェスティバル』を実施しました。2月11日に県北地区大会が相模原市立青少年学習センターをお借りして盛大に実施され、昨年度を上回る665名の来場がありました。ブース出展していただいた協議会員のみなさま、ありがとうございました。

## <ご出展いただいた協議会員のみなさま>

団体名	出展内容
(独)宇宙航空研究開発機構(JAXA)	国際宇宙ステーションで使われているロボットハンドを作ろう
紅葉ヶ丘無線クラブ	・モールス通信を体験しよう! ・不思議な絵(字?)を作ろう
富士フィルム株式会社神奈川工場	あっと驚くカラー写真」を作ってみよう!
相模原市立相模川ふれあい科学館	ふれあいミニ水族館

## サイエンスショー「風船を使って科学しよう！」

(青少年センター指導者セミナー修了者)



青少年センターで行っている「実験・工作指導者セミナー」の修了生による実験ショーです。興味のある方は是非ご参加下さい。写真は静電気による反発で風船を動かしているところです。



身近な「風船」はいろいろな実験に使うことができます。写真は大気圧によって風船が落下しない実験をしています。

## サイエンスショー「風であそぼう!」「ひもで科学?!」

(網倉聖子)



「風であそぼう!」の様子です。風がどのように進むかを実験しています。お手製のスズランテープののれんを使っているので、非常に風の動きが分かりやすいです。



「ひもで科学?!」の様子です。ひも1本でいろいろな実験をすることができます。動滑車や定滑車を使って自分で自分を持ち上げる実験もしました。

「国際宇宙ステーションで使われているロボットハンドを作ろう」  
( 独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA) )



紙コップ2個と荷造り用のひも3本だけで、国際宇宙ステーションで使われているものと同じ原理のロボットハンドを作ることができます。その動きを見ると感動です！



ロボットハンドでマジックをつかんだ後、マジックをつかんでも外れないことを確認！いろいろな発想を実際に試してみるのが大切！

「ふれあいミニ水族館」  
(相模原市立相模川ふれあい科学館)



相模川に生息する様々な生きものが展示されました。ウナギの稚魚やスッポンがいることには感激しました。

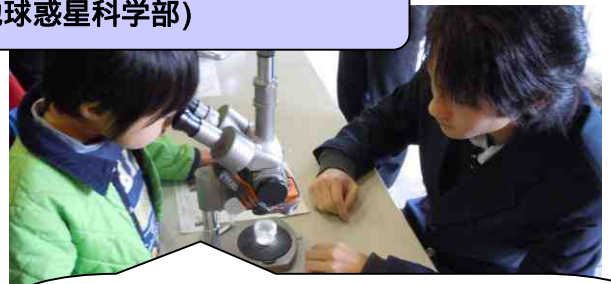


動物にタッチできるコーナーは大人気でした。「タッチコーナーを目当てに来場しました」という方もいらっしゃいました。カメさん1日ありがとうございました。お疲れ様でした。

「土や砂の中から見つかる金(!?)や宝石たち」  
(県立相模原青陵高校 地球惑星科学部)



「金(のようなもの)」が見えるということで、子ども達は一生懸命探していました。本物の金ならいいのになぁ…。



双眼実体顕微鏡を使って観察しています。ヒントが合わなくても、高校生の皆さんがやさしく教えてくれました。

「Rainbow Box 虹を作る箱」  
 (おもしろ実験配達人 さとう やすし)



不要なCDを使って分光器を作りました。工作ブースは作ったものを土産に持って帰れるし、毎回すごい人気です。



作る子ども達も真剣です。一生懸命に良いものを作ろうとしている様子がわかります。

「風船ヘリコプターをつくろう」  
 (さがみはら科学探検隊)



こちらも工作ブースです。風船に羽を付けてヘリコプターのように飛ばします。行列が出来るほどの大人気でした。



羽の微妙な調整でうまく飛んだり、飛ばなかったり…。子ども達も試行錯誤、いろいろ試していました。

「くるくるレインボー」  
 (猪間 進)



光沢のあるテープを使って科学おもちゃの工作です。写真の手前にあるのが完成見本です。くるくる回して遊べます。



兄弟や姉妹で仲良く参加している様子も多数見受けられました。お姉さん(妹さん?)はもう完成間近です。

「モールス通信を体験しよう!」「ふしぎな絵(字?)を作ろう」  
(紅葉ヶ丘無線クラブとほんままさこ)



筒面鏡を作成しました。これを使うと絵や文字がまがって不思議な形になります。



モールス通信の体験です。点(ト)と線(ツ)で言葉や文字が表せることに感心していました。

「あっと驚く『カラー写真』を作ってみよう!」  
(富士フィルム株式会社神奈川工場)



特殊なフィルムを使って明るい部屋でのカラー写真現像処理を体験しました。白衣を着て、科学者気分です。



工程に従って色々な液に浸して現像します。きれいに現像できたかな?

「なるほど! センサーのふしぎ体験」  
(一期会)



様々なセンサーを使った実験や工作をしていただきました。写真は方位磁針を作っている所です。方位磁針もセンサーとして使えるんですね。



こちらは光センサーを使った実験です。このほかにも風速センサーなどを使った実験が体験できました。

## 青少年センターイベント紹介

神奈川県立青少年センターは、青少年の健全育成のため「青少年指導者育成」「舞台芸術の支援」「青少年サポート」「科学体験の推進」の4つの柱で事業を行っています。こうした取り組みを県民に広く知ってもらおうことを目的とした「青少年センター子どもフェスティバル」が、1月22日(日)青少年センターで実施され、1200人余の来場がありました。

科学部では、指導者セミナー修了生による「サイエンスショー」、一壇百験サークルによる科学体験、「くるくるレインボー」「まんげきょうを作ろう」「ロボットプログラミング体験」等の他、ホールで「日本科学未来館ASIMO理科授業特別編」を行い、たくさん子ども達に楽しんでもらいました。



ロボットプログラミング体験



日本科学未来館ASIMO理科授業特別編



くるくるレインボー (猪間 進)



サイエンスショー (セミナー修了生)



ｼｯﾌﾟ ｼｯﾌﾟ!!もし空気がなかったら  
(一壇百験サークル)



まんげきょうを作ろう

## 事務局より

「子どもサイエンスフェスティバル湘南地区大会」が3月10日(土)平塚市青少年会館で行われました。朝から冷たい雨が降る生憎の天気でしたが、727名の来場者があり、会館内は子ども達の熱気にあふれていました。「温泉地学研究所」を始めご出展いただいた協議会員のみなさまに、改めて御礼申し上げます。

本年度のイベントも3月27日の「星空教室」を残すのみとなりました。協議会のみなさまには、さまざまなイベントや講座で大変お世話になりありがとうございました。

来年度も青少年の科学体験活動を推進していくため、ご支援・ご協力をお願いいたします。ご意見・ご要望等ございましたら、事務局までご連絡願います。

本ニュースと一緒にお送りした「平成24年度協議会名簿基本調査回答用紙」は、変更の有無に関わらず、4月13日(金)までにFAXにて回答をお願いいたします。

神奈川県青少年科学体験活動推進協議会事務局  
(県立青少年センター科学部)  
平田、佐藤  
TEL 045-263-4470  
FAX 045-241-7088

### < 青少年センター科学部の主な講座等のお知らせ (3月) >

日時		講座名(実施場所)	事前申込	備考
3月27日(火)	18:30 ~ 20:00	星空教室(青少年センター)	要	前月1日より先着順 対象:小3~、申込:電話